

## 2019年度 ハマボノプロジェクト

支援先団体名	区	支援メニュー	ページ
おもいやりカンパニー	南	ウェブサイト	2
文月会	磯子	ウェブサイト	6
神奈川県転倒予防医学研究会 青葉GoGoクラブ	青葉	事業計画立案 (ママボノ)	9
ふらっとステーション・ドリーム	戸塚	課題整理 ワークショップ	12
平戸平和台地区地域運営協議会 (にこにこハウス)	戸塚	印刷物	15
いこいの家 夢みん	戸塚	マーケティング 基礎調査 (ママボノ)	18
NPO法人せや	瀬谷	マーケティング 基礎調査	21

## プロジェクト紹介

### おもいやりカンパニー



南区

#### おもいやりカンパニー

プロジェクトの種類 ウェブサイト

プログラム

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

子育て中のママが行う、地域の支援活動。買い物に困難な主に高齢者のために「マママルシェ」で野菜やパンを販売したり、買物や掃除の代行をします。新たに、空き家をリノベーションした駄菓子屋×多世代交流拠点もスタート予定。プロボノでは、利用者・ボランティアなどの輪を広げるためにウェブサイトを作成します。高齢者と接する機会が多い専門職が紹介したり、遠方に住む高齢者のご家族などが安心できるような、わかりやすいサイトを目指します。



### 進捗状況

リーダー： 守田さん

メンバー： 石田さん 野本さん 松島さん 椎名さん

2019.10.26



オリエンテーションを実施しました。

2019.11.09



キックオフミーティングを実施しました。



2019.11.23

チームミーティングを実施し、翌週の現地訪問に向けた打ち合わせをしました。

2019.11.27

チームメンバーがおもいやりハウスを訪問し、スタッフの方などへのヒアリングを実施しました。

2019.12.01

中間提案に向けて、主にオンライン上でプロジェクトを進めています。ヒアリング結果のまとめ、ウェブサイトのターゲット・コンセプト、サイトマップイメージ、サイトフレームイメージ、機能要件の確認などの内容で分担をし、資料作成を進めます。

2019.12.21



支援先を訪問し、中間提案を実施。サイトマップやワイヤーフレームのご提案をし、いよいよこれからウェブ制作に入っていきます。

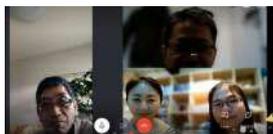
2020.01.12

チームミーティングを実施し、中間提案へのフィードバックを受け、ウェブサイト制作についての詳細確認、プロジェクト完了までの流れなどを確認しました。

2020.02.15

支援先を訪問、チームが作成したウェブサイトをご覧いただき、大変喜んでいただけました。完成に向けて修正依頼をいただき、最終化をしていく予定です。

2020.03.07



成果提案ミーティングを実施しました。新型コロナウイルス感染予防のため、対面でのミーティングは残念ながら断念し、オンラインでの実施となりました。チームが作成したウェブページを改めてご確認いただき、更新方法、今後の運用などについて確認をしました。修正依頼をいただき、納品に向けた最後の作業に入ります。

2020.03.21

団体からの最後の修正依頼を成果物に反映し、プロジェクト完了となりました。ウェブサイト制作が初めてというメンバーで、温かみのある、素敵なウェブサイトを作成、納品を完了しました。<https://www.omoiyari-company.com/>

## プロジェクト成果





自信を持って活動を広く知ってもらえるウェブサイトができました

おもいやりカンパニーの利用者はお子さんから高齢者まで幅広く、そしてウェブサイトを見る人は利用者以外にも、おもいやりカンパニーを利用する高齢者のご家族や、要介護者のケアマネジャーさんなどまで幅広くいらっしゃいます。そのため、どなたにでも親しみやすく、また必要なページにアクセスしやすい構成を心掛けました。

プロジェクトは、ヒアリングや訪問を通して、プロボノチームが団体の活動の内容や雰囲気への理解を深めることからスタート。おもいやりカンパニーのボランティアの方が描いているイラストも活かしながら、ウェブ制作が進みました。TOPページには最新情報や、イベント紹介、また、FacebookやInstagramで更新した情報も表示されるようにしています。ボランティア募集のページでは、スタッフの声を載せることで、一緒に活動をしたいと思ってもらえる工夫もしました。

プロジェクトの感想として、団体の方から、団体紹介として書類などに堂々とURLが記載できるようになった、ウェブを見たという問い合わせが増えたなどの声をいただきました。

完成したウェブサイトは、団体の方がこまめに更新をしながら活用しています。

(2021年3月8日時点の情報です)

[完成したウェブサイトはこちら \(外部サイトにリンク\)](#)

## プロジェクト成果の“その後”



コロナ禍が続いていますが、活動内容は以前と同様のまま、人数規模を調整しながら活動をしています。ハマボノで制作いただいたウェブサイトで、その情報発信をしています。

もっと学んで新しい機能も使えるようになりたいと思いつつも、今は、今あるページを活用しようと、活動の合間に時間を見つけて更新を続けています。

ウェブサイトは学生さんも見てくれているようで、子ども食堂の活動について大学の卒業論文にしたいという問い合わせをいただいたこともありました。企業からの講演依頼もありました。ウェブサイトができたことで、関心を持ってアクセスしてくれる人が増えた印象です。

ウェブサイトやSNSの活用、広報紙など、さらに情報発信に力を入れていきたいと思っています。

[2023/1/17 おもいやりカンパニー 津ノ井様、根島様へのヒアリングより]

「ウェブサイト」で支援したその他のプロジェクト

みんなでご飯を食べる会

いずみの会

もっと見る



## プロジェクト紹介一覧



横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10  
Tel:045-671-3464 Fax:045-550-4096

[kf-hamabono@city.yokohama.jp](mailto:kf-hamabono@city.yokohama.jp)



【事務局】認定NPO法人サービスグラント

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-2-10 中里ビル4階  
Tel:03-6419-4021 Fax:03-6419-3885

[hamabono@servicegrant.or.jp](mailto:hamabono@servicegrant.or.jp)

このウェブサイトは、認定NPO法人サービスグラントが横浜市の委託を受けて運営しています。

[このサイトについて](#) [個人情報保護方針](#)

© 2024 City of Yokohama. All rights reserved.



# プロジェクト紹介

## 文月会



磯子区

### 文月会

プロジェクトの種類 ウェブサイト

プログラム

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

昭和51年から続く、地域のボランティア活動。区内福祉施設・障害者団体等の依頼によるボランティアの派遣や高齢者宅への弁当配食サービスなど、活動内容は幅広く、時代のニーズに合わせて活動をしてきました。プロボノでは、若い世代の人を含め、一緒に活動をしたいと思える人を増やし、担い手不足を解消することを目指し、活動の魅力や団体への参加方法などを伝えるウェブサイトを作成します。



## 進捗状況

リーダー：大羽さん

メンバー：岩田さん 館澤さん 高橋さん 松本さん

2019.10.26



オリエンテーションを実施しました。

2019.11.09



キックオフミーティングを実施しました。

2019.11.22



文月会の活動の1つである配食事業「愛のお弁当」の現地調査をし、関係者へのヒアリ

ングを実施しました。手書きのお品書きが添えられたお弁当をプロボノチームもいただき、身も心も温まりました。

2019.12.02

中間提案に向けて、マーケティングチームとウェブ制作チームに分かれ、主にオンラインで提案をまとめ、資料を整えていきます。

2019.12.10

ボランティア参加への関心などについてアンケートを作成しました。アンケート結果は、ウェブサイトのコンテンツや運営の参考とする予定です。

2019.12.22



支援先を訪問し中間提案を実施、ウェブサイトの目的、コンテンツ、運用などを確認しました。これからのよいよ制作に入ります。

2020.01.17

活動を見学し、ウェブサイトに使用する写真を撮影しました。また、ウェブサイト完成後に更新に使用するパソコンの設定の確認もしました。

2020.02.08



成果提案ミーティングを実施しました。製作したウェブサイトを披露し、更新方法のご説明、ウェブサイト記載内容修正の確認などを行いました。

2020.02.22



支援先を訪問し、成果物となるウェブサイトの最終確認を行いました。そして、文月会代表に記念すべき最初の「更新」ボタンクリックをしていただき、サイトを公開しました。わずかな微修正を加え、3月初めにはプロジェクト完了予定です。https://fuzukikai.jimdosite.com

2020.03.04

団体からの修正依頼への対応を終え、プロジェクト完了となりました。

## プロジェクト成果



チラシでは届かない人たちにも活動を知ってほしい 文月会の笑顔あふれるウェブサイトが完成しました

地域の様々なボランティア活動をして約40年。顔が見える範囲で広げてきた活動をもっと広く知ってもらうため、パンフレットではなく、あえてウェブサイトプロジェクトに挑戦しました。

プロボノチームは、まず配食サービス「愛のお弁当」の活動を見学。一緒にお弁当をいただき、活動をする皆さんにヒアリングをしました。ヒアリングや見学を通して作成したウェブサイトは、団体のご希望で温かいオレンジ色に。ヒアリングに行ったプロボノメンバーが、文月会の皆さんのあふれんばかりの笑顔をトップページの写真にしっかり収めています。「愛のお弁当」をメインにしなが、他の幅広い活動もご紹介。一緒に活動をする人を増やすためのボランティア募集ページには、活動の流れや、活動をしている人の声などを載せています。長い歴史が一目でわかる、懐かしい写真も数多く掲載しました。

ウェブサイトに慣れていないメンバーが少ないため、普段の更新は利用者さんへの「お知らせ」ページに絞りました。完成後も、プロボノチームが作ったマニュアルを見ながら、ボランティアの方が更新を続けています。

(2021年3月6日時点の情報です)

[完成したウェブサイトはこちら](#) (外部サイトにリンク)

## プロジェクト成果の“その後”



「文月会からのお知らせ」欄は、必要時に更新をしながら、「愛のお弁当」に関心のある方へのご連絡に活用しています。コロナの影響で活動をお休み・再開する際にも、お知らせ欄でご案内しました。また、地域の文化祭では、地域活動の宣伝としてホームページに掲載した写真を提示することが出来ました。

ホームページを作ったことで、普段「愛のお弁当」に関わっている皆さんが、改めて文月会のメンバーであることを再認識し、意欲の維持向上にもつながったのも大きな収穫でした。利用者の方のためだけでなく、いかに自分自身の心身の健康の源であり生き甲斐であるかを、改めて認識し合っています。

[2020/12/24 文月会代表古知屋様へのメールアンケートより]

# プロジェクト紹介

## 青葉GoGoクラブ



青葉区

### 青葉GoGoクラブ

プロジェクトの種類 活動運営マニュアル

プログラム

ママボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

神奈川県転倒予防医学研究会 青葉GoGoクラブは、2018年からスタートした、高齢者の交流と健康づくりを目的とした活動です。転倒予防の体操を行うだけでなく、“ワクワクドキドキ”を感じられるレクリエーションも含めたプログラムを作り上げています。プロボノでは、今後ボランティアを増やしていくため、クラブの運営を支えるコーディネーターとボランティアの活動内容やこれまで積み上げてきたノウハウを棚卸し、マニュアルを作成します。運営のポイントとなる、ちょっとした支援（認知症の方も含む）を必要とする方々を受け入れるためのエッセンスも抽出することで、新しいボランティアの方が安心して活動できるようになることや、同様の活動が区内外に広がっていくことを目指します。

※一般のプロボノワーカーとママボノとの混合チームでプロジェクトを行います。



## 進捗状況

リーダー： 齊藤さん 高嶋さん

メンバー： 柴田さん 橋本さん 広島さん 藤田さん 星さん

2019.10.26



オリエンテーションを実施しました。

2019.11.09



キックオフミーティングを実施しました。

2019.11.14



青葉GOGO  
クラブの見  
学を行いました。スタ  
ッフの方々  
や利用者さ

んと触れ合うことで、活動の意義を感じる有意義な時間を過ごすことができました。

2019.11.27

11月18日、21日、27日にボランティアの方へのヒアリングを実施しました。ヒアリングが進むにつれ、青葉GOGOクラブさんの全体像が見えてきました。

2019.12.09



中間提案を実施しました。ヒアリングの結果見えてきた業務の流れやボランティアさんの仕事について認識合わせをし、最終成果物のイメージをすり合わせる事が出来ました。

2019.12.19

改めて現場の見学を実施しました。また、マニュアルに記載する内容を更に深堀りするため、ボランティアの方へのアンケートも行っています。

2020.01.09

運営当日にボランティアの方に使っていただくカードのトライアル運用を実施しました。アンケートでフィードバックもいただき、更に使いやすい成果物になるようブラッシュアップしていきます。

2020.01.23



最終提案を実施しました。今までの見学やヒアリング、成果物の試運用結果をもとにした2種類のマニュアルとカードをご提案し、その場でフィードバックを受領しました。今後の活動へのちょっとしたご提案や成果物の活用法に関して闊達な議論を行うことができました。青葉GoGoクラブさんからは「今まで活動を軌道に乗せることで精一杯で把握しきれていなかった業務全体がプロボノによって見える化され、スタッフ内で前向きに業務を考え直すよい機会となった」と喜びの声をいただきました。

## プロジェクト成果



クラブ運営の課題を解消し、ボランティアの自発的な行動をサポートするマニュアルとツールを作成

プロジェクト前半では、クラブの見学や団体スタッフやボランティアメンバーのヒアリングを丁寧に行い、クラブ運営がどのように行われているかや、運営上の課題を可視化していきました。中間提案では、整理した業務フローや、ボランティアに参加する方が運営を手伝いやすくするための提案を行い、クラブ運営の在りたい姿について、団体とチームメンバーで活発な意見交換が出来ました。そのディスカッションを元に、クラブ運営の詳細なマニュアルを作り、クラブ当日に運営を手伝うボランティアをサポートする「役割カード」の制作を行いました。団体代表の朝香さんからは、「プロボノの方々の活動姿勢から、ボランティアスタッフの意識改革が出来たと感じています。ボランティア一人一人が活動的・能動的な行動をとれるようになってきました。プロボノは、地域での活動している人や、地域ボランティアの方々に、別の角度からの刺激、新しい息吹を与えてくれるものだと思います。」という言葉をいただきました。

(2021年3月1日時点の情報です)

## プロジェクト成果の“その後”



以前は一部の方に運営タスクが集中している状況でしたが、ハマボノの皆さんに事前準備から当日までの作業が見える化していただいたことにより、“運営はみんなです”という方向性に変わりました。

また、ハマボノでご支援いただいた直後にコロナ禍の影響で以前のように活動が出来なくなってしまい、プロジェクト中に想定していた事前準備・当日の運営という場面での使い方はできていませんが、新たに手伝ってくれる方が、運営として何が必要なのかをイメージするために活用してきました。

2023年4月から、コロナ禍前の3時間のプログラムに戻りますので、みんなで改めて運営マニュアルを見て、何をするか検討しようと話しています。

運営として何を必要があるのかを、関係者で共有・認識を合わせることに、運営マニュアルを活用することができ、感謝しています。

[2023/1/30 青葉GOGOクラブ支援者 今田さまへのヒアリングより]

# プロジェクト紹介

## ふらっとステーション・ドリーム



戸塚区

ふらっとステーション・ドリーム

プロジェクトの種類 課題整理ワークショップ

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

地域住民に食事の提供をして14年目。地域の主婦がチームで食事を作り、昼食を1食600円で提供しています。栄養豊富な食事への評価も高く、ボランティアの方にとっても、生きがい、居場所になっています。スタッフが高齢化していく中、今後の継続に向けて、今回、プロボノプロジェクトで、関係者へのヒアリングをします。そして、活動の価値を発見し可視化する“宝探し”とともに、継続発展に向けた諸々の課題を棚卸し、整理します。



### 進捗状況

リーダー： 藤原さん

メンバー： 渡辺さん 金子さん 杉原さん 中村さん

2019.10.26



オリエンテーションを実施しました。

2019.11.09



キックオフミーティングを実施しました。

2019.11.16

オンラインでチームミーティングを実施しまし

た。

2019.11.21

プロボノチームが現地を訪問し、理事会にオブザーバーとして同席しました。

2019.11.24

オンラインでチームミーティングを実施しました。

2019.12.08

チームから1名が支援先を訪問、ほかのメンバーはオンライン参加で、支援先の方との打ち合わせをしました。実施予定のアンケート内容について具体的に確認をしました。

2019.12.16

支援先の方とオンラインミーティングを実施し、利用者アンケートについての確認をしました。

2019.12.21

支援先の担当者会議に同席をし、実際の運営の様子を見学しました。

2020.01.08

利用者アンケートを開始しました。

2020.01.19



支援先を訪問し、これまでのヒアリング結果をもとに、課題の整理、今後のご提案に向けた意見交換をしました。

2020.01.26

オンラインでチームミーティングを実施しました。支援先とのミーティング結果を受け、提案の方向性について検討しました。

2020.02.08

プロボノチームからの提案を受け、プロジェクトで実施したアンケート結果報告をもとに、団体内で、今後の活動継続についてのディスカッションを行いました。

2020.02.24

オンラインでチームミーティングを実施しました。

2020.02.29



成果提案ミーティングを実施しました。支援先を訪問し、改めて調査結果をご報告、そこから見えてきた課題をお伝えし、課題を克服するためのご提案をしました。支援先の皆さんからは、少しずつでも変えて行こう、実行できたことを報告できるようにしたい、当初言われていた通り「宝探しができた」という声をいただきました。

2020.03.05

提案に対する回答と承認を実施しました。その際に、支援先団体の皆さまが、チームからの提案を受けて内部ミーティングを実施し、提案内容の実現に向けたディスカッションを実施しました。

## プロジェクト成果



客観的な目での業務の棚卸しと課題を整理が、次のアクションにつながりました

ふらっとステーションドリームは、おいしい昼食で親しまれているだけでなく、ボランティアの皆さんにとっていきがいの場所。ですが、スタッフのご年齢が上がり、同じように継続できるかという不安も出てきていました。そこで、客観的に課題を整理するプロジェクトを実施しました。

プロボノチームは、運営スタッフにヒアリングをし、理事会をオブザーブ。利用者や、理事・スタッフへのアンケートも実施し、多角的に活動への理解を深めました。そして、中心メンバーの皆さんに途中報告をして方向性を確認しながら、丁寧にプロジェクトを進めました。

調査から聞こえてきたのは、いかにこの活動が地域にとって大切かという嬉しい言葉の数々。ボランティアの皆さんにとっての活動の意義も見えてきました。一方、継続のための課題も見えてきました。

最終提案では、具体的な改善案をご提示し、活動している皆さんとの話し合いをしました。慣れた方法を変えるというご提案は、長く続けている方ほど受け入れが難しいもの。それでも前に進んでみようという空気が生まれたのは、プロボノという外からの風が入った大きな成果でした。

(2021年3月7日時点の情報です)

## プロジェクト成果の“その後”



コロナの影響もあり、またそれまでの慣れたやり方もあり、提案資料を活用できない状況が続いていました。しかし、状況が変わっていく中で、徐々に提案を活用しています。当時の代表が交替になったため、成果物のひとつである「役員の方担リスト」を活用しています。作業が可視化されたことで、一人で担っていた事務と会計業務について、他の理事が「できることをやります」と声を挙げてくれました。また、買い物はネットを使ったり、少し高目でも近所の商店で調達するようになりました。

プロジェクトでの課題整理で、スタッフ間での話し合いがそれまで十分でなかったと改めて気づき、それ以来、スタッフやボランティアの声を直接聞くことを心掛けています。

成果物の中でまだ活かしていない「分担表」や「各スタッフ業務の改善案」についても、今後状況が変わる中で、少しずつ活用していきたいと思っています。

[2021/7/8 ふらっとステーションドリーム理事長 松本様、副理事長・会計 馬場様へのヒアリングより]

# プロジェクト紹介

## 平戸平和台地区地域運営協議会



戸塚区

平戸平和台地区地域運営協議会

プロジェクトの種類 印刷物（パンフレット作成）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

地域住民が主体となり、空き家を活用した地域交流拠点「にこにこハウス」を2017年に立ち上げました。食事や交流を楽しむサロンや、多世代が交流するランチ会、カフェや歌声サロン、生活相談など、地域の人が集うアットホームな場として活発に活動しています。

今回のプロボノでは、今後にこにこハウスの新たなメンバーを募り、より多くの人にスペースを活用してもらうために、活動内容やスペースの魅力を案内するパンフレットを作成します。



### 進捗状況

リーダー： 岩井さん

メンバー： 大野さん 菅生さん 鈴木さん 丸山さん

2019.10.26



オリエンテーションを実施しました。

2019.11.09



キックオフミーティングを実施しました。

2019.11.24



「にこにこハウス」の1つの活動であるランチ会を見学、関係者へのヒアリングも実施

しました。

2019.12.07



中間提案に向けた、チームミーティングを実施しました。ヒアリング調査結果をベースにレイアウト案を作成、中華提案でご提示予定です。

2019.12.21



支援先を訪問し、制作プランの提案をしました。これまでの調査報告を踏まえ、成果物となるパンフレットのコンセプトおよびレイアウトのご提案をしました。レイアウトを2案お持ちし、一方で決定、内容や配置の見直しを行いました。

2020.01.05

提案に対するフィードバックと承認を実施しました。

2020.01.13

チームミーティングを実施し、中間提案に対する団体側の依頼を反映したパンフレットの案を整理しました。

2020.01.26



支援先を訪問し、クリエイティブ提案を実施しました。12月の中間提案へフィードバックを反映した構成などをご提案し、詳細の確認をしました。これから最終形へと整えていきます。

2020.02.09



チームミーティングを実施、パンフレットの最終化に向けた作業を行いました。

2020.02.23



支援先を訪問し、成果提案を実施しました。前回のパンフレット案のご提示後、文言や

写真、色味などの修正を加え、より明るく、わかりやすいパンフレットとなりました。成果提案ミーティングでは、改めてパンフレットの文言や写真、画像などの最終確認をしました。この後チームが微修正を行い、月末までに納品予定です。

2020.02.29

最終成果物を納品、プロジェクトを完了しました。

## プロジェクト成果



様々な活動を1枚に掲載したパンフレットが完成、ここにこハウスの活用が一目で見渡せるツールになりました

地域交流の拠点として、ランチ会や教室などをスタート。さらに、新しい活動を始めたいボランティアの方がいれば活動を増やしたり、貸室利用も広げるなど、ここにこハウスのさらなる活用のために、活動全体を紹介するツールが必要でした。

プロボノチームは、まずヒアリングや活動への参加を通して理解を深め、情報の整理をしました。参加をした活動では写真も撮るなど、素材も揃えていきました。そして、すべての情報を1枚に掲載するための折り方も工夫し、A3サイズの12面折りをご提案しました。

完成したパンフレットは、各活動内容、開催日や、イメージが伝わるイラストや写真なども掲載し、貸室利用のための写真や間取り図も入れるなど、情報満載。活動内容から活用事例まで全体像を知ってもらえるものになりました。

早速印刷をして、ここにこハウスには常備し、近隣にも配布し、ケアプラザなどにも設置するなど、大変ご活用いただいています。

また、その後、2020年度読売福祉文化賞高齢者部門を受賞しました。その申請の際にも、プロボノで制作をしたパンフレットを団体紹介に活用しました。

(2021年3月15日時点の情報です)

## プロジェクト成果の“その後”



パンフレットを作りたいという話がずっと出ていましたが、作れる方がなくて困っていました。その頃にハマボノを知り、わかりやすいパンフレットを作ってもらえてよかったと思っています。

コロナ禍の影響でしばらくお休みをしている活動などもありますが、新型コロナウイルス感染対策を講じながらできる活動は継続し、関心を持ってくださった方にはパンフレットを渡しています。

昨秋ハロウィンイベントを実施した際は、100名ほどの親子が参加くださり、外にまで列ができました。その時にも、希望する方にはパンフレットをお渡ししました。

多世代交流の支援をしている他団体の方が見学に来られた際には、パンフレットを見ていただきながら1つずつ活動の説明をしました。数多くの活動を見やすく整理してもらえたので、説明しやすいパンフレットだと改めて感じました。

コロナがなければもっと活用できたのという思いはありますが、引き続き活用していきたいと思います。

[2023/2/17 ここにこハウス運営委員 望月様、早坂様、平戸地域ケアプラザ小川様ヒアリングより]

# プロジェクト紹介

## いこいの家 夢みん



戸塚区

### いこいの家 夢みん

プロジェクトの種類 マーケティング基礎調査

プログラム

ママボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

地域の居場所として活動して24年。地域のニーズに耳を傾けながら、介護予防プログラム、生活支援（身の回りのお手伝い、見守りなど）、認知症カフェなど、活動を広げてきました。スタート時は高齢者対象でしたが、5年前に活動場所を移転してからは、子ども向けのイベントや学習支援なども始め、多世代交流拠点としてプログラムを拡充しています。そしてさらに、この拠点のさらなる有効活用と、担い手や利用者の幅を広げることが次の目標です。地域の居場所として発展させるために、自由な新しい発想でこのスペースを活用してくれる人を募集したり、新たな活用方法を探したいと考えています。そこで、スペース利用者の幅を広げたり、新たな活用方法を検討することを目指し、若い世代や近隣の住民等にヒアリングなどを通じたニーズ調査を行います。



## 進捗状況

リーダー： 田村さん 凌さん

メンバー： 伊藤さん 上田さん 大塚さん 長瀬さん 村木さん

2019.10.26



オリエンテーションを実施しました。

2019.11.09



キックオフミーティングを実施しました。

2019.11.12



チーム全員で夢みんを訪問。スタッフや利用者の方から話を聞き、周辺の子育て施設も見

学しました！

2019.12.13



中間提案を実施しました。今後実施する本格的な調査に向けて、対象者や方法、内容について具体的なディスカッションを行い、また、1月に開催するトライアルイベントの企画も行いました。

2019.12.20

近隣住民の方へのアンケートや、電話での個別ヒアリングを実施しています。

2020.01.14



トライアルで編み物カフェin夢みんを実施しました。赤ちゃんから高齢者まで多世代が交流し、楽しめるイベントとなりました。

2020.01.15



最終提案に向けて、メンバーの家に全員集合し、集中討議を行いました。

2020.01.21



最終提案を実施しました！アンケート結果を基に、夢みんが多世代交流の場となるための

アクションプランを提案し、意見交換を行いました。

## プロジェクト成果



多世代交流拠点として活動を広げるために、子育て世代のニーズと子育て世代を巻き込む施策を提案

プロジェクトチームは、まず初めに、子育て世帯を対象とした夢みんの認知度やニーズ調査を行うためのアンケート内容を検討しました。その後、団体にご協力いただき、地域住民や小学校の保護者に向けたアンケート実施や、近隣の子育て世帯向けのイベントに団体メンバーと一緒に参加して簡単なヒアリングも行いました。更に、実際に多世代交流イベントも開催し、夢みんが多世代交流地点となるために必要なことや企画・運営のノウハウを得ることが出来ました。最終提案では、アンケート分析結果やイベント開催から得られた気づきを元に、子育て世代をターゲットとした広報の重点化、子育て世代を対象としたプログラムの拡充等の提案を行いました。

代表の伊藤さんからは、「日々の活動に追われている70代中心の私たちにとって、ママさんチームとの交流は新鮮で、まさに団体が目指す多世代交流となり、刺激を受けました。いただいた資料は、私たちだけでは作ることが出来なかった宝物。周辺地域にも役立てると思い、一部資料提供を行いました。」という感想をいただきました。

## プロジェクト成果の“その後”



プロジェクト完了後、近隣に新拠点を設立し、2023年4月のオープンを計画しています。プロジェクトでの「子育て世代へのアンケート」で、若い世代の実態を把握できたことが、その後押しとなりました。アンケート結果は、助成金申請の際の説明資料としても活用しました。プロジェクト中に実証実験として実施をした編み物カフェで、温度感を感じたことも、新事業の原動力となっています。編み物カフェ以外にも、ミシンコーナーの設置、レンタルスペースとしての貸し出しなどの提案もいただいていたので、新拠点の活動の参考にしています。

プロジェクト当時、運営メンバーの高齢化も一つの課題でしたが、今では若い方（30代、40代）の運営参画も増えてきました。若いボランティアも随分と増えました。

あと1年遅かったら運営メンバーの体力的にも厳しく新拠点の設立まで繋げることができなかったかもしれないと思うと、非常に良いタイミングでプロジェクトを実施できたと考えています。

これからも、利用者のニーズに合ったプログラムやイベントなどを考えていきたいと思っています。

[2023/2/26 いこいの家 夢みん 伊藤様、深石様、野沢様、馬場様へのヒアリングより/ご協力:プロボノワーカー上田さん、大塚さん]

# プロジェクト紹介

## せや



瀬谷区

せや

プロジェクトの種類 印刷物（パンフレット）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

平成9年にスタートした地域住民の生活支援活動。主な事業は移送サービス。地域住民の憩いの場として、コミュニティカフェ和（なごみ）を運営。低価格での飲食・軽食等の提供や、地域の方の趣味の写真・絵画等の展示会、福祉事業所の手作り品の販売も行っています。プロボノでは、コミュニティカフェ和をより多くの地域住民に知ってもらい、利用を呼び掛けるためのパンフレットをWordもしくはPowerPoint形式で作成します。



## 進捗状況

リーダー： 伊藤さん  
メンバー： 佐藤さん 平木さん 村田さん

2019.10.26



オリエンテーションを実施しました。

2019.11.09



キックオフミーティングを実施しました。

2019.11.20

和カフェの見学とヒアリングを実施しました。

貴重な意見を伺うことができ、活気あるカフェの雰囲気も体感することができました。

2019.12.14



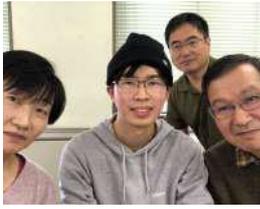
横浜でチラシ作成の概要を決めるチームミーティングを行いました。

2020.01.12



カフェ「和」にて、中間提案を実施しました。チラシ作成に向けた全体の方向性を確認することができ、また、支援先団体の皆さんが作られているカフェ「和」の温かい雰囲気を感じることができました。※写真は素敵な手作りのミニチュアディスプレイです。

2020.01.25



神奈川県民センターでボランティアメンバー全員が集まり、チラシ制作作業を行いました。中間成果物ミーティングで確認した団体のご要望を元に、皆で案を出し合って3つのパターンを作成することができました。

2020.02.11

メンバー全員で横浜ボランティアセンターに集まり、チラシの修正と成果ミーティングの際にお持ちする、「チラシ以外の提案」について打ち合わせを行いました。擦り合わせた内容で17日にNPOせや様とご相談予定です。

2020.02.17

チラシに掲載する写真の取り直しと、メールでお送りしたチラシについて、細かな点を確認するために、カフェ「和」を訪問しました。具体的なフィードバックをいただき、23日の成果ミーティングに向けて最後の調整に入ります。

2020.02.23



一同士知り合えた事も財産だと思います。

2月23日(日)、カフェ『和』で成果ミーティングを行いました。NPO「せや」の理事長、理事、社会福祉協議会のご担当者と関係者全員ご出席いただき、プロボノメンバーも全員出席して、今までの経緯、完成したチラシのご説明、チラシ配布以外のご提案を行いました。チラシ以外のご提案は、検討してくださるものも多く、今までプロボノとして関わった中で気づきが活用される可能性に私達プロボノ側メンバーも大変嬉しく思いました。ミーティングは終始和やかな雰囲気で行われ、最後には、せや様より感謝のお言葉を頂戴しました。短い間でしたが、今回のプロボノ活動を通して、私達自身、たくさん勉強させていただき、とても充実した4ヶ月でした。メンバー

## プロジェクト成果



### 地域住民の憩いの場、カフェ和の魅力伝えるチラシを作成

プロボノチームは、カフェ和の魅力や利用者のニーズを探るため、カフェの利用者や、まだ利用したことのない方へのヒアリングを行いました。そこから見えてきた、チラシでアピールすべきカフェ和の魅力や利用者を増やすアイデアを元に、どんな情報をチラシに掲載すべきかを検討し、無料ツールを使ってロゴやチラシの制作を進めました。また、最終提案では、チラシを活用する方法だけでなく、チームメンバーそれぞれの知見を活かし、チラシ活用以外の方法で、より多くの人にカフェ和を知っていただくためのアクションについても提案しました。

団体代表の林さんからは、「利用者にヒアリングをしてもらい、今まで気付かなかった利用者が求めていることを知ることが出来ました。チラシもとてもいいものができよかったです。また、プロジェクトを通して運営メンバーの当事者意識が高まり、活動に対して以前にも増して積極的に関わってくれる姿が見られるようになりました。」というコメントをいただきました。